

令和４年度～令和８年度 遠賀町生涯学習まちづくり実施計画

前計画で改善が必要とされた項目

前計画で取組み十分とされたが継続して取り組む項目

新規項目

1. ライフステージに応じた学習機会の充実・交流の促進													
No.	ア. 生涯学習に関わる施策・事業	イ. 事業ごとの目標	ウ. 目標達成に実施した工夫					エ. 事業ごとの目標達成状況					担当課・係
			多くの人が学べる工夫	学びを活かす工夫	つながる工夫	情報を届ける工夫	楽しく学べる工夫	R04	R05	R06	R07	R08	
1	わんぱく教室の周知と内容の充実 →令和5年度以降、事業を廃止（おんがみらいテラス指定管理者が類似事業を実施）	参加人数 380人/年	【R04】広報紙、HP、赤ちゃん訪問時、4か月健診時に、教室について案内実施。 【R05】廃止	【R04】自宅でも実践できるよう、身近なもの（新聞紙、牛乳パック等）と使つてのおもちゃづくりを実施。 【R05】廃止	【R04】リトミックや様々な遊びを通し、参加者と交流。 【R05】廃止	【R04】広報紙、HP、赤ちゃん訪問時、4か月健診時に、教室について案内実施。 【R05】廃止	【R04】毎回、その季節ににあった行事を開催。 【R05】廃止	121人(令和5年1月末)	R5年度より廃止	—	—	—	健康こども課・健康対策係
2	すくすくひろばの継続実施	参加者数維持 16組/月	【R04～】広報紙、HP、赤ちゃん訪問時、4か月健診時に、教室について案内実施。	【R04～】専門職による育児相談を実施し、発達の確認や離乳食の進め方などを説明。	【R05～】乳児と母だけではなく、出産を控えた妊婦の相談も行い、出産後も気軽に参加できるようにした。	【R04～】広報紙、HP、赤ちゃん訪問時や4か月健診時に、事業について案内実施。 【R05～】母子手帳アプリ事業案内開始	【R04～】ベビーマッサージ等のオプションを希望者に実施。	参加者平均6.9組/月(令和5年1月末)	参加者平均9.8組/月(令和6年1月末)	参加者平均15.3組/月	16組/月	16組/月	健康こども課・こども家庭センター
3	子育て支援ひろば「ぐっぴい」の利用促進	利用者数20,000人/年	【R04～】広報紙、HP、社会福祉協議会HP、赤ちゃん訪問時、施設について案内実施。 【R05】社会福祉協議会HPからおんがみらいテラスHPに掲載実施	【R04】マーフィーさんの英語タイムを年に3回実施。その他親子で出来る講座等の実施を月1回程度実施。 【R05】マーフィーさんの英語タイムを年に1回実施。育児講座を年6回実施。	【R04～】子育て親子の交流の場の提供と交流を促進地域の子育て関連情報の提供ボランティア団体の協力による催し物、地域交流の講座の開催。	【R04～】広報紙、HP、赤ちゃん訪問時に、事業について案内実施。町や社会福祉協議会HPによる情報の発信。 【R05】社会福祉協議会HPからおんがみらいテラスHPに掲載実施	【R04】子どもに人気のハロウィンやクリスマス会、七夕などのイベントを実施。親子で学べる親子ヨガ教室。夏には、水遊びも実施。 【R05】子どもに人気のハロウィンやクリスマス会などのイベントを実施。親子で学べる親子ヨガ教室、親子フラダンス、親子クッキングの開催。	ふれあいの里2,180人 中央公民館 474人 (いずれも令和5年1月末) ※R5年度からは、おんがみらいテラス指定管理者へ事業移管	おんがみらいテラス(うちぐっぴい) 20,315人 (令和6年1月末)	おんがみらいテラス(うちぐっぴい) 25,503人 (令和7年3月末)	20,000人/年間	20,000人/年間	健康こども課・こども家庭センター

4	職場体験事業の充実	職場体験への参加			【R04】事業中止 【R05～】事前訪問での打ち合わせや、事後の感想・お礼の手紙を渡すことにより、事業所との関係を深めた。	【R04】事業中止 【R05～】体験活動のまとめを作成し、文化祭で発表・展示をした。	【R04】事業中止 【R05～】生徒への事前アンケートによりニーズを把握し、ニーズに沿った事業所の選定を行った。受け入れ先として約30の事業所を確保することにより、生徒の興味・関心に、できる限り対応した。	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、R4は事業中止	各中学校の2年生 (約170名)	各中学校の2年生 (約175名)			学校教育課・学校教育係
5	子どもの体験活動の機会拡充	参加人数 各回20人	【R05】体験活動後、活動内容、防災で得た知識や子ども達の体験前、体験後の感想等みらいテラス、町内3小学校に掲示した。 【R06】体験活動後、活動内容、農業で得た知識や子ども達の体験後の感想等、町内3小学校に掲示した。	【R04～R05】宿泊研修の事前研修として4回の日帰り研修とした。防災をテーマに各回で学んだ事を宿泊研修で発揮できる教室にした。 【R06】第1回の教室でJA職員にバケツ稲の育て方を説明してもらい、その後、各自家に持ち帰り収穫まで育てた。第2回以降の教室では、成長発表を行い、皆で米の成長過程を確認できるようにした。	【R04～】ボランティアスタッフと企画し、各種活動もボランティア講師に依頼した。 【R05～】各回の講師を町内外の団体・事業所へ依頼した。 【R06】昨年の参加者2名が小学校を卒業後中学生ボランティアとして参加し、連続して教室に関わることで、ボランティアの担い手としてつなげていった。	【R04～】学校の協力を得て、対象(4～6年生)全員に募集チラシを配布した。	【R04～R05】防災をテーマとしながらも、子ども達が楽しめる活動をボランティアと考えた。 【R05】防災をテーマに子どもたちの視点に合わせた防災食クッキングや非常時の持ち出し品を考える時に絵が書かれたカードを使用するなど、楽しく学べる工夫を行った。 【R06】収穫したもののつるを使って調理をした。きんぴらだけでなく、こども達は自発的に葉っぱを天ぷらにしたり、大学いもを自由に作っていた。	全5回、児童参加数延べ126名(平均25.2人)	全5回、児童参加数延べ58名(平均11.6人)	全5回、児童参加数延べ82名(平均16.4人)			生涯学習課・社会教育係
6	遠賀町民学習ネットワーク事業の充実	追加指導項目数 5件(累計)	【R04～R05】新たに3項目の有志指導者を発掘し、より多くのメニューが提供できるようにした。	【R04～】有志指導者を講師として講座を開催した。		【R04～】講座の内容について、広報紙やVOOM、ポスター掲示等で周知を行っている。		3件(ライター・言葉ワーク・自分史)	3件(手芸・手鞠・貝細工)	0件			生涯学習課・社会教育係
7	定期利用団体、サークル等への支援の継続	50団体登録				【R04～】広報紙3月号に募集記事を掲載している。		中央公民館定期利用団体44団体	中央公民館定期利用団体44団体	中央公民館定期利用団体41団体			生涯学習課・社会教育係
								スポーツ施設定期利用団体29団体	スポーツ施設定期利用団体31団体	スポーツ施設定期利用団体56団体			生涯学習課・スポーツ文化係

2. いつまでも健康な心と身体づくり													
No.	ア. 生涯学習に関わる施策・事業	イ. 事業ごとの目標	ウ. 目標達成に実施した工夫					エ. 事業ごとの目標達成状況					担当課・係
			多くの人が学べる工夫	学びを活かす工夫	つながる工夫	情報を届ける工夫	楽しく学べる工夫	R04	R05	R06	R07	R08	
1	遠賀町体育協会の周知と充実	大会開催数 26大会	【R04～】大会参加者募集については、広報紙でお知らせしている。	【R04～】それぞれの団体の日頃の練習の成果を発表する場として、大会を企画した。	【R04～】各大会は、それぞれの部会が主となって企画、実施している。	【R04～】大会参加者募集や結果については、広報紙でお知らせしている。		26大会実施(2～3月実施予定分含む)	1大会(女子バレーボール大会)が参加者不足により実施できなかったが、他は全て実施できた。(2～3月実施予定分含む)	1大会(ワチフェス大会)が雨天により実施できなかったが、他は全て実施できた。(2～3月実施予定分含む)			生涯学習課・スポーツ文化係
2	各種スポーツ教室等の充実	スポーツ少年団の会員の増 R08で220人(R03で206人)	【R04～】参加者の募集は、広報紙だけではなく、小学校でチラシを配布してもらった。	【R04～】教室実施の際に、町内のスポーツ少年団を紹介して、競技を続けてもらうよう誘導している。		【R04～】参加者の募集は、広報紙だけではなく、小学校でチラシを配布してもらった。教室開催の様子を広報紙でお知らせした。	【R04～】プロやその道の有能な指導者を講師として招聘し、それぞれの競技の楽しさを学んでもらった。	R04. 12現在216人(10人増)	R05. 12現在227人(前年度より11人増)	R06. 12現在217人(前年度より10人減)			生涯学習課・スポーツ文化係
3	スポーツ推進委員の研修会等への派遣	研修会への派遣		【R04～】研修で学んだことを基礎にして、ニューススポーツ教室を実施してもらった。	【R04～】定例会議を実施して情報共有した。		【R04～】北部地区の研修会は、各市町から選出された委員が企画して実施しており、様々な研修が企画されている。	県や北部地区、遠賀郡の研修会に参加してもらい、推進委員の知識や技量を高めてもらった。 【指導派遣実績】 ・かけっこ教室3名 ・学童スポーツ教室8名 ・スロージョギング教室3名 ・福祉フェア(障がい者スポーツ)6名	県や北部地区、遠賀郡の研修会に参加してもらい、推進委員の知識や技量を高めてもらった。 【指導派遣実績】 ・かけっこ教室3名 ・学童スポーツ教室6名 ・ファミリー体力測定8名 ・ファミリー体力測定8名	県や北部地区、遠賀郡の研修会に参加してもらい、推進委員の知識や技量を高めてもらった。 【指導派遣実績】 ・学童スポーツ教室6名 ・ファミリー体力測定8名 ・モルック交流大会9名			生涯学習課・スポーツ文化係
4	遠賀町総合型地域スポーツクラブの支援	会員増	【R04～R05】参加者の募集は、広報紙だけではなく、小学校でチラシを配布してもらった。かけっこ教室は、会員以外の人でも参加できるようにした。 【R06】廃止	【R04～R05】運動会で活躍できるよう、かけっこ教室は、小学校の運動会前に実施した。 【R06】廃止		【R04～R05】参加者の募集は、広報紙だけではなく、小学校でチラシを配布してもらった。 【R06】廃止		新型コロナウイルス感染症の影響があり現状維持。	コロナ禍の影響以降、なかなか会員数が増えてこない。また、ボランティア指導者が見つからず、実施できていない種目がある。なお、令和6年3月末で、解散が決まった。	令和5年度末で解散したため実績無し			生涯学習課・スポーツ文化係
5	健康寿命の延伸を目的とした運動教室の実施	参加者人数25人/回(運動教室)	【R05～】会場をコミュニティセンターとし、多くの人が参加できる環境とした。	【R04～】自宅でもできる運動を取り入れ、運動の習慣化を促している。	【R04～】リピーターを増やすことで参加者同士の顔なじみの関係性を作る。	【R04～】広報紙やHPにて内容や日程を掲載。また、窓口にてチラシを配布。	【R04～】年間2回の体力測定を行い、教室参加の効果について実感できるようにした。	参加者数16.2人/回	参加人数16.8人/回	参加人数17.0人/回(R7. 1. 15時点)			福祉課・地域包括支援係

3. 多様な学習機会の創出													
No.	ア. 生涯学習に関わる施策・事業	イ. 事業ごとの目標	ウ. 目標達成に実施した工夫					エ. 事業ごとの目標達成状況					担当課・係
			多くの人が学べる工夫	学びを活かす工夫	つながる工夫	情報を届ける工夫	楽しく学べる工夫	R04	R05	R06	R07	R08	
1	ちびっこ農園・芋掘り体験事業の継続による食と農業に関する教育の推進	事業継続		【R04～】総合的な時間に食に対する関心を高める為に、教材として利用している。		【R04～】広報紙や学校・学級だよりで、ちびっこ農園について情報を発信している。	【R04～】収穫したもち米は、餅にして作った児童本人が食べれるようにしている。	各小学校の5年生（約194名）	各小学校の5年生（約165名）	各小学校の5年生（約185名）			学校教育課・学校教育係
				【R04～】小学生の農業体験は学校の授業のカリキュラムとして行っている。芋掘り体験は商工会の活動として行っている。	【R04～】農業体験は農業者が耕作を行っており、児童への指導等を実施。芋ほり体験はシルバー人材センターが維持管理等や支援等を行っている。		【R04～】農業体験は田植えや稲刈りを体験し、そのもち米で作ったもちを児童に配布している。	小学校3校で5年生が農業体験を実施した。芋ほり体験は保育園3園及び幼稚園1園で実施	小学校3校で5年生が農業体験を実施した。芋ほり体験は保育園4園で実施（遠賀川、南部、山びこ、愛あい）	小学校3校で5年生が農業体験を実施した。芋ほり体験は保育園3園で実施（遠賀川、南部、愛あい）			産業振興課・農業推進係
2	ゴミの減量とリサイクル活動の推進、地球温暖化対策の推進に関する情報提供	広報紙やイベントで年1回以上情報提供	【R04～R06】（パネルクイズ）イベントで行うことでより多くの人が学べる機会になった。			【R04～R06】広報紙での情報提供。	【R04～R06】（パネルクイズ）クイズ形式にして、楽しみながら学べた。エコグッズ配布あり。	人権フェスタにて地球温暖化対策に関するパネルクイズ 1回 広報紙での情報提供 7回	こどもまつりにて地球温暖化対策に関するパネルクイズ 1回 広報紙での情報提供 7回	こどもまつりにて地球温暖化対策に関するパネルクイズ 1回 広報紙での情報提供 7回			住民課・環境衛生係
3	環境教育のための学習の場の充実	講座開催数 15回（累計）	【R04～R06】（映画）開催日を土曜日にした。	【R04】（映画）題材を身近なものにした。 【R05】（映画）海洋ごみ（マイクロプラスチックに関する）を身近なものにした。 【R06】（映画）題材を「地球温暖化」に関するものとした。		【R04～R06】（映画）広報紙やHPでの周知関係団体へチラシを配布した。		ダンボールコンポスト利用講座2回 「もったいないキッチン」映画上映会1回	ダンボールコンポスト利用講座2回 「マイクロプラスチック・ストーリー」映画上映会1回	ダンボールコンポスト利用講座2回 「不都合な真実」映画上映会1回			住民課・環境衛生係

4	男女共同参画企画講座	参加者の満足度 大変良かった・良かった 80%以上	【R05～R06】開催日時を日曜日にし、子育て世代の親子を対象に親子講座を行った。	【R05】講演だけでなく、ワークショップ形式の講座とした。	【R05～R06】講座中、参加者同士が意見交換を行える時間を作った。	【R04～R06】広報紙、HPに加え、町内企業に周知を行った。 【R05～R06】各保育園、小学校の保護者に対してチラシの配布を行った。	【R04】女性の視点で考える防災講座やSDGsに関する講座など、様々な視点で参加者が日常を見つめなおせるような内容とした。 【R05】親子講座では、ダンボールワークショップを行い、父親が参加したくなる内容とした。 【R06】スポーツを通して親子と他の親子との交流を行い、家庭や地域参画の理解を深めた。	①受講生：65名 延べ参加人数：96名 ②良かった等92.6%	①ダンボールワークショップ：26名 キャリア応援セミナー：29名 ②良かった等97%	①28名参加 ②良かった等100% 3月に講座予定			住民課・協働人権係
---	------------	------------------------------	---	-------------------------------	------------------------------------	---	--	---------------------------------------	--	---------------------------------	--	--	-----------

5	協働のまちづくり出前講座	参加者の満足度 大変良かった・良かった 80%以上				【R04～R06】広報紙、HPに加え、区長会に周知を行った。	【R04～R06】講座申込者に興味関心を持ってもらえるよう内容の見直しを年1回各課に依頼し、受講者の選択肢を広げている。	①延べ503名参加 ②良かった等100%	①延べ540名参加 ②良かった等100%	①延べ475名参加 ②良かった等100%			住民課・協働人権係
6	12月人権週間講演会	参加者の満足度 大変良かった・良かった 80%以上		【R05】「みんなちがって、みんないい」をテーマとして、誰もが人権について理解を深める内容とした。		【R04～R05】街頭啓発、広報紙等に加え、関係団体等に周知を行った。また、図書館と協働し、講演会に関する書籍コーナーを設置した。 【R06】講演会前に講師にインタビューを行い広報紙に掲載し講演会の周知を行った。	【R04】郡内4町・中間市で連携し5年に1度実施している人権フェスタを開催し、人権講演会の他に、東京パラリンピックの競技にもなったボッチャ体験や環境啓発コーナーパネル展&クイズを実施した。 【R05】コンサート形式で行った。	①322名参加 ②良かった等99.5%	①125名参加 ②良かった等97.14%	①181名参加 ②良かった等98.26%			住民課・協働人権係
7	様々な課題に関する人権教育事業の実施	①人権講演会参加者 250人/回 ②人権講演会アンケートの「よかった」等90%以上		【R04～】アンケート結果より希望の多かった平日夜の開催とした。 【R06～】天候等で開催を延期できるよう、あらかじめ延期日を設定した。		【R04～】街頭啓発、広報紙等に加え、町のホームページで周知を行った	【R04～】参加を検討してもらえるように写真を大きく掲載し、興味を引くような説明文を掲載した。	①153名参加 ②良かった等94%	①135名 ②良かった等87%	①143名 ②良かった等96%			生涯学習課・社会教育係
8	ニーズに即した成人教育の実施（寿大学・成人講座等）	①寿大学受講者 75人 ②成人講座 受講率 80%（受講者/募集数） ③アンケート結果等を反映した講座数 5件（累計）		【R04～】①公開講座においては無料または誰でも参加可能とした。②受講費や材料費を抑え、参加しやすい環境を整えた。	【R04～】日常生活の中で学ばすかけづくりとした。 【R04】受講者が講座で学んだことを家庭などでフィードバックさせた（男の料理教室など） 【R05～】自分史の受講者が講座で学んだことをこれらの生活に記録として残せた。	【R04】寿大学の「足もみヨガ」や成人講座の「脳トレ麻雀」の受講者については、講座終了後、自主サークルとしての活動につなげた。 【R05】寿大学の「歌って健康に」の講師による歌と踊りを融合した「レッツシング♪レッツダンス」を開催した。	【R04～】広報紙及び地区公民館や町内公共施設等にポスター掲示して周知を行った。 【R04～】①参加者の希望の多い健康問題に関する講座を増やした。②持参品を極力少なくし、活動に集中できるように配慮した。 【R05～】健康の講話だけではなく、脳と身体を動かす「脳トレ運動」を開催した。 【R06～】寿大学の「太極拳」と「気功」を3年毎に入れかえて開催。	①受講者 45人 ②77%（44人/57人） ③1件	①受講者40人②53%（40人/75人）③3件	①受講者53人②75%（53人/70人）③6件			生涯学習課・社会教育係

9	食生活改善推進会周知と会員数の増加	活動実績 48回/年	【R04～】血圧相談会（R6～）や子どもまつりで試食配布を行い、食生活改善や会の活動について周知を行った。	【R04～】開催するイベントでレシピや資料を配布し、自宅でも実践できるようにした。	【R04～】開催するイベントの参加者と積極的に関わることで、活動に興味を持ってもらい会員数の増加に努めた。	【R04～】YouTube動画配信（月1回）、インスタグラム、おながめしブログ、広報紙を通じレシピを配信。	【R04～】調理実習など体験のある教室を行い、楽しく学べる工夫をした。	活動実績 41回/年	活動実績 48回/年	活動実績 48回/年			健康こども課・健康対策係
10	ホームページ「おながめし」の情報更新と充実	メニュー掲載 1件/月	【R04～】おながめしレシピをYouTube動画配信（月1回）、ブログ更新（月1回）実施。	【R04～】おながめしレシピを分かりやすく配信し、地産地消も啓発した。	【R04～】若い世代にもレシピを見てもらうため、YouTubeやインスタグラムでも配信。	【R04～】YouTube動画配信、インスタグラム、おながめしブログ、広報紙を通じレシピを配信。	【R04～】調理風景や季節感を大切にし、食材の紹介等を入れつつ配信。	メニュー掲載1件/月	メニュー掲載1件/月	メニュー掲載1件/月	メニュー掲載1件/月	メニュー掲載1件/月	健康こども課・健康対策係
		アクセス数 5000件/年		【R04～】ブランド品ができるまでの工程を配信している。		【R04～】常時、必要に応じて情報更新を行った。	【R04～】写真などを多く配置し、親しみやすいように配慮している。	アクセス数 5829件/年	アクセス数 9,450件/年	アクセス数 22,087件/年			産業振興課・農業推進係
11	消費者トラブル未然防止のための情報提供と出前講座の継続実施	情報提供:24回/年 出前講座:3回/年			【R04～】各地区で見守り活動などを行う役員に対して情報提供を行うことで、消費者トラブルの解決や未然防止につながった。	【R04～】講座の参加者に合わせた資料の配布や映像を使った説明など、分かりやすい情報提供を行った。また、特に緊急性の高いトラブル情報などは、町ホームページやLINEに掲載し、注意喚起を行った。	【R04～】出前講座では、講話だけでなく、クイズや参加者のトラブル体験を話してもらい、解決策・予防策について情報提供を行うなど参加型の内容も取り入れた。	情報提供:23回 出前講座:3回	情報提供:21回 出前講座:1回	情報提供:20回 出前講座:2回			産業振興課・商工振興係
12	防災ハザードマップなどを活用した防災知識の普及と啓発の強化	出前講座 3地区/年	【R04】各区、自主防災組織に呼び掛けを実施した。 【R05～】全地区、自主防災組織に出前講座のメニューを改めて紹介。積極的な開催を呼び掛けた。	【R05～】能登半島地震の発生を鑑み、新たに地震についての講座を設け、知識の普及等をおこなうことができた。				防災ハザードマップの改訂に合わせ、15地区で出前講座を実施	防災知識の普及に係る出前講座を3回実施した。	3地区で防災知識の普及と啓発を行うことができた。			総務課・防災安全係
13	関係機関や地域住民が一体となった実効性ある防災訓練の実施	10地区/年	【R04～】参加団体との連携が図れるよう、訓練内容に確認事項を用意。問題点の抽出が図れた。	【R04～】防災行政無線・回覧・HP・LINE等で訓練実施及び参加を呼び掛け、住民参加型の訓練が実施できた。	【R05～】前年度の2月自治区会より一斉避難訓練の日程を周知し、各地区自主防災組織への訓練参加を呼び掛けた。			町、全23区自主防災組織、消防団・1介護事業所が参加して町内一斉避難訓練を実施。災害時の避難所運営及び連携体制を確認した	町と全23区中21区の自主防災組織、消防団が参加して町内一斉避難訓練を実施。災害時の避難経路及び連携体制を確認した。残りの2地区も別日で訓練を開催した。	町内全23区自主防災組織が地震想定での町内一斉避難訓練を実施。災害時の避難所運営及び連携体制を確認した			総務課・防災安全係

4. 支え合いのひとづくり・まちづくり													
No.	ア. 生涯学習に関わる施策・事業	イ. 事業ごとの目標	ウ. 目標達成に実施した工夫					エ. 事業ごとの目標達成状況					担当課・係
			多くの人が学べる工夫	学びを活かす工夫	つながる工夫	情報を届ける工夫	楽しく学べる工夫	R04	R05	R06	R07	R08	
1	【R04】子どもの安全確保 【R05～】安心、安全なまちづくり	地域・関係団体と協働での見守り等の活動 20回/年			【R04～】開始前に参加団体の紹介の時間を設け、団体同士が知り合うきっかけとした。	【R04～】以前からの協力団体へのお知らせと、広報紙やHPでも参加者を募集している。	【R04～】車両1、徒歩3のコースとし、各自が希望するコースに参加できるようにしている。	7回実施延438名参加	遠賀町青少年安全パトロール6回実施延321名参加	遠賀町青少年安全パトロール5回実施延284名参加 折尾警察署少年補導員と協働パトロール11回			生涯学習課・社会教育係
		青パト実施者講習会を実施 2回/年			【R05～】折尾警察署生活安全課と連携した講習会を実施した。				講習会参加人数が多く、計4回の講習会を実施した。	講習会参加人数が多く、計4回の講習会を実施した。			総務課・防災安全係
2	ボランティア活動への支援・活性化（ボランティア人材バンク等）	①ボランティア人材バンク登録者 50人 ②ボランティアと企画した事業の実施 3件（累計）	【R05～】県からコーディネーターを派遣してもらい、一緒に教室を運営することでボランティアの人材育成に役立った。	【R04～】活動体験教室実施時の打ち合わせと反省会を行った。	【R04～】活動体験教室での各種活動もボランティア講師に依頼した。 【R05～】福岡県に派遣を依頼したコーディネーターによるボランティア研修会を実施した。 【R06】九州共立大学の学生2名が企画からボランティアとして活動した。	【R05～】ボランティア活動たよりを作成し、町内公共施設に配架した。	【R04～】活動体験教室については、ボランティアが中心となって企画した。	①登録者35人 新規登録2人 ②5回の体験活動教室実施（3月に1件予定）	①登録者40人 新規登録6人 ②5回の体験活動教室実施	①登録者41人 新規登録2人 ②5回の体験活動教室実施			生涯学習課・社会教育係
3	ボランティアによる学校教育の支援（ふれあいスクール等）	①支援の回数 30回/年 ②活動したボランティアの数 100人/年			【R05～】学校派遣の前に必ず学校の先生と打ち合わせを行い、情報共有を行っている。	【R05～】小学校3年生全員に自分の名前のお手本を渡して書写の学習に役立てている、	【R05～】町内小学校の3、4年書写の時間にボランティアを1回あたり約10人派遣し、きめ細かい実技指導を行っている。	①②コロナ禍の為派遣中止	①支援回数23回 ②指導者数延べ220人	①支援回数23回 ②指導者数延べ258人			生涯学習課・社会教育係
4	地区公民館長研修の継続と公民館対抗行事の実施	研修2回/年 対抗行事3回/年		【R04～】研修会は、全館長に周知して多くの人に参加してもらった。 【R04】対抗行事は、新型コロナウイルス感染症予防のため3大会とも中止した。 【R05～】対抗行事は、4年ぶりに3大会とも開催できた。	【R04～】公民館長会議の中で、2地区の館長より、地区の状況や実践発表をしてもらい情報共有した。			研修会は、全館長に周知して多くの人に参加してもらった。 対抗行事は、新型コロナウイルス感染症予防のため3大会とも中止した。	研修会は、全館長に周知して多くの人に参加してもらった。 対抗行事は、4年ぶりに3大会とも開催でき、住民の交流の場の提供に寄与した。	研修会は、全館長に周知して多くの人に参加してもらった。 対抗行事は、雨天等により3大会中2大会（7月11日、12日）が中止となったが、グラウンドゴルフ大会は開催でき、住民の交流の場の提供に寄与した。			生涯学習課・スポーツ文化係

5. 町の魅力再発見、文化づくり													
No.	ア. 生涯学習に関わる施策・事業	イ. 事業ごとの目標	ウ. 目標達成に実施した工夫					エ. 事業ごとの目標達成状況					担当課・係
			多くの人が学べる工夫	学びを活かす工夫	つながる工夫	情報を届ける工夫	楽しく学べる工夫	R04	R05	R06	R07	R08	
1	A L T派遣事業の継続実施	A L T派遣		【R04～】校内の廊下や階段、教室などに掲示している単語に英語表記をつけるなど、日常的に英語に接する環境を作っている。		【R04～】ALTの先生に親しみを持てるように、2ヶ月に1回、広報紙にALTの先生が記事を掲載し、自身の情報を発信している。	【R04～】児童・生徒が英語に興味を持って楽しく学べるように、簡単な英単語を使って会話のキャッチボールを行うなど、学びやすい雰囲気づくりを行っている。	小学校：3～6年生（約720名） 中学校：1～3年生（約540名）	小学校：3～6年生（約710名） 中学校：1～3年生（約530名）	小学校：3～6年生（約680名） 中学校：1～3年生（約540名）			学校教育課・学校教育係
2	町の魅力の情報発信	アクセス数 160万件/年				【R04～】各課でホームページを更新してもらい、きめ細かな情報を迅速に発信している。		ページビュー数 123万件/年 (R4/1/1～R4/12/31)	ページビュー数 109万件/年 (R5/1/1～R5/12/31)	ページビュー数 110万件/年 (R6/1/1～R6/12/31)			企画政策課・広報紙係
3	多文化共生の講座	参加者の満足度 大変良かった・良かった 80%以上	【R04～R06】多国籍の人が楽しめる企画を立案した。 【R06】子ども向け講座を3月に実施予定		【R04～R06】国際交流クラブと協働し企画・実施した。	【R04～R06】広報紙、HPに加え、町内企業に周知を行った。	【R04～R06】参加者が気軽に話し合えるよう和やかな雰囲気づくりに努めた。また、スポーツを通して多文化共生の理解を深めた。	①ワークショップ：23名 ボビナム教室：30名 ②良かった等95%	①ワークショップ：26名 外国語としての日本語の学習会述べ人数：46名 タイ料理教室：26名 ②良かった等100%	①モルック国際交流会：30名 ミャンマー料理教室：26名 ②良かった等96% 2月と3月に講座予定			住民課・協働人權係
4	文化財の適正な保存	未指定の文化財に関する調査		【R05】資料寄贈時に県の専門職員（有形文化財）が同席し、資料の一括性や価値の確認を行いながら所有者から寄贈を受けた。 【R06】令和5年度に発見した若松地区埋蔵文化財の横穴墓の発掘調査を終え、記録保存を行った。		【R04】古文書燻蒸について広報紙への掲載とともに、既知の古文書所有者へは個別にお知らせしている。 【R05】寄贈資料の公開等は現時点では行っていないが、県の専門職員と今後の活用方法について協議し、次年度以降の事業展開（資料の一部公開など）に見通しをたてることができた。 【R06】古文書燻蒸や古文書類を整理した。		個人所有の古文書等も町所有・保管の古文書合わせて燻蒸を行った。調査の進捗状況等については文化財保護委員会報告予定。	絵画・書を中心としたまとまった量の個人所有の文化財の寄贈を受け、目録を作成するとともに清掃等を行い、適切に保管する環境を整えた。寄贈資料の内容や今後の活用方法については、文化財保護委員会報告予定。	発掘調査時に撮影されたネガフィルムの一部はフィルムスキャナーでデジタル化した。			生涯学習課・社会教育係

5	文化財の有効活用	町HP, 広報紙による情報提供 3回(累計)	【R04～R06】島津のヤマザクラのライトアップ事業に関連してフォトコンテスト(フォトまる)を行い、島津・丸山歴史自然公園および島津のヤマザクラを訪れ、文化財に触れるきっかけづくりを行った。 【R05】指定文化財の周知のため、丸山公園内の案内板等の一部更新・新設をした。		【R04～R06】ヤマザクラライトアップ事業については実行委員会開催で方針等を決定している。フォトコンテストの受賞作品については広報紙で紹介している。 【R05～R06】中央公民館等で作品展示を行い、町の魅力を発信するとともに文化財を周知する一助とした。	【R04～R06】事業の周知については広報紙やHPおよび公共施設等へのポスター掲示等であった。また、昨年度撮影した島津のヤマザクラの開花時の映像をHP上で公開した。 【R06】岡垣町で遠賀川下流域の文化財について、遠賀町の文化財を中心とした内容の出前講座を行った。また、町の社会学級にて「学ぼう遠賀の文化財」の出前講座を行った。		島津のヤマザクラについて、生育環境の改善を行った(2・3号木) 令和4年度のライトアップ事業は3/18～3/30で実施(来場者500人)	令和5年度のライトアップ事業は3/18～4/7 約600人	令和6年度のライトアップ事業は3/21～3/31で実施予定			生涯学習課・社会教育係
6	地域伝統芸能の保存継承	記録作成の充実と保存・継承に関する支援		【R04】R3実施の無形民俗文化財(祭り・行事)に関する聞き取り調査結果をもとに、コロナ禍で規模縮小・休止となっている各地区の伝統行事に関する保護手法の検討中。	【R04】2地区の山笠行事について、行事の開始時より同席し、それぞれの地区での運営状況を記録した。 【R05】島津地区の山笠行事について、コロナ禍での制約がなくなった状態での運行状況の調査を行った。	【R04】町HPにおいて新型コロナウイルスの影響で3年振りに開催される島津・老良の山笠行事について周知を行うとともに、行事の様子を広報紙9月号に掲載できるよう働きかけた。 【R05】町HPにて7月に開催された島津・老良の山笠行事について周知を行った。また、町内で執行されている神幸行事のうち、浅木地区(6年に1度)・尾崎地区(3年に1度)の開催状況を広報紙で周知した。		文化財保護委員会で報告	R3に実施した無形民俗文化財(祭り・行事)に関する聞き取り調査結果をもとに、引き続き各地区の伝統行事に関する保護手法を検討中。今年度の各地区の状況等については一部を文化財保護委員会で報告	無形民俗文化財(祭り・行事)の現地調査については、未実施			生涯学習課・社会教育係
7	町文化協会への支援	会員数 460人		【R04～】感染症予防対策を実施した上で、各部会の発表会等を実施した。	【R04～】各部会より代表者が集まり、事業を進めていくため定例の会議を実施して情報共有した。	【R04～】広報紙に協議会の会報を載せ、情報発信した。		会員数419人(対前年比40人増)	会員数492人(対前年比73人増)	会員数488人(対前年比4人減)			生涯学習課・スポーツ文化係
8	町民文化祭の継続実施	来場者数 1,700人	【R05】JA北九やさい畑おなが店や遠賀町食生活改善推進会と共同イベントを実施した。		【R04～】文化祭実行委員会には、町内の文化団体も参画しており、協議しながら実行した。	【R04～】町内の店舗等に依頼してポスターを啓示させてもらったり、広報紙にプログラムを折り込んだりして周知した。		来場者数1,540人(R3 1,486人) ※新型コロナウイルス感染症予防のため金曜日のお茶会は実施せず。	来場者数2,184人(R4 1,540人)	来場者数1,065人(R5 2,184人) ※11/2(土)大雨により会場が自主避難所となったため中止			生涯学習課・スポーツ文化係

6. 学習拠点の利活用

No.	ア. 生涯学習に関わる施策・事業	イ. 事業ごとの目標	ウ. 目標達成に実施した工夫					エ. 事業ごとの目標達成状況					担当課・係
			多くの人が学べる工夫	学びを活かす工夫	つながる工夫	情報を届ける工夫	楽しく学べる工夫	R04	R05	R06	R07	R08	
1	図書館の適正運営、事業の充実	指定管理者との定期的な連絡調整会議 6回/年	【R05～】遠賀郡四町が共同運営する遠賀郡広域電子図書館のサービスを開始した。	【R04～】指定管理者と情報交換だけでなく、事業内容の調整も行っている。	【R04～】指定管理者と日々の連絡・相談も行っている。 【R04～】小中高生の職場体験の受け入れを行っている。	【R04～】イベント情報をX、ライン、HP、広報紙等で発信している。	【R04～】図書館サービスの充実と読み聞かせやビブリオバトル、落語等様々なイベントを実施している。	5回実施済み 2月に6回目予定	5回実施済み 2月に6回目予定	5回実施済み 2月に6回目予定			生涯学習課・社会教育係
2	地区公民館施設補助	地区の要望を把握し協議を進める				【R04～】公民館長会議や区長会の際に事業内容を周知した。		3地区の公民館施設改修補助を実施した。	3地区の公民館施設改修補助を実施した。	5地区の公民館施設改修補助を実施した。			生涯学習課・スポーツ文化係
3	遠賀総合運動公園の管理運営業務	新規事業毎年1事業以上	【R04】前年度、教育委員会主催で、スポーツリズムトレーニング教室を実施したが、内容が良かったということで、来年度のスクール開校に向けて協議した。 【R05～】定期的なスクールとして開校した。		【R04～】防災運動会に企画段階から参画してもらった。	【R04～】SNSを利用した情報発信を強化した。	【R04～】多くの人に親しみを持ってもらえるよう、総合運動公園に關しての川柳コンテストを実施した。	新規事業として、多くの人に親しみを持ってもらえるよう、総合運動公園に關しての川柳コンテストを実施した。 新たな試みとして、スポーツリズムトレーニングスクール開校(令和5年4月)に向けて協議している。	新たな試みとしてスポーツリズムトレーニングスクールを開校した。 また、筋膜リリース体験会を実施したところ評判が良かったので、定期的な教室として開催するか検討している。	新規事業として以下のものを実施。 おなが車まつりに実行委員として参画 ハローウィンの時期に、ツリーフェイスの設置 ゲートボール場をキャンプ場としてリニューアル 航空スポーツ教室誘致(R7.1.25予定) スポーツ推進委員とコラボしてのニュースポーツ体験会(R7.2.9予定)			生涯学習課・スポーツ文化係
4	ふれあいの里における福祉事業・生涯学習事業の充実	指定管理者の提案自主事業をはじめとした事業の実施	【R04～】指定管理者による様々な定例教室の実施に加え、夏休みは子ども教室を実施するなど多くの人が学ぶ機会を創出した。	【R04～】事業(教室)内容が、健康な生活や生きがいに関係した内容となっている。	【R04～】参加者同士等の関わりや企業とのタイアップによる教室の実施や、遠賀高校生ボランティアとの連携により、新たな人と人とのつながりが生まれている。	【R04】参加する人の興味を引き出し学ぶことの大切さを感じられる事業となっている。 【R05～】町の広報紙や指定管理者の作成するHP・チラシ・ポスターなどにより、周知を行った。	【R04～】健康や生きがいに関連した事業の実施により、興味を持って楽しく学べる内容となっている。	指定管理者による提案自主事業が多数実施できた。	指定管理者による提案自主事業が多数実施できた。また、福祉フェアにおいては、指定管理者及び社会福祉協議会へ事業を委託し、学習機会の充実及び多くのボランティアや住民の参加により、交流の促進を図れた。	R6指定管理者等による体操教室やハン・そば作り教室等の自主事業や、福祉フェアでの福祉体験や健康体操等の実施により、多数の生涯学習の機会と場を創出できた。			福祉課・福祉高齢者支援係